▼ゼビュディ点滴静注液　［注］

【重要度】　【一般製剤名】ソトロビマブ（遺伝子組換え）　Sotrovimab（Genetical Recombination）　【分類】抗 SARS-CoV-2 モノクローナル抗体製剤
【単位】▼500mg/V　［8mL］
【常用量】500mg 単回点滴静注
●成人及び 12 歳以上かつ体重 40kg 以上の小児
●SARS-CoV-2 による感染症の症状が発現してから速やかに［1 週間以内］投与
【用法】生食または 5%ブドウ糖注射液 50mL または 100mL で希釈し，30 分かけて点滴静注［0.2μm のインラインフィルター使用］
［混和前に希釈液から 8mL 抜いておく］

▼調製方法
希釈前に室温・遮光で 15 分静置
8mL を抜き取り，気泡ができないように混和
調製後速やかに使用（25℃以下 6 時間以内に完了）
冷所保管の場合は 24 時間以内に完了

【透析患者への投与方法】常用量（1）
【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量（1）
【特徴】SARS-CoV-2 スパイクタンパク質の受容体結合ドメイン上の ACE2 受容体結合部位とは異なる部位に結合し，SARS-CoV-2 に対する中和作用を示す.
【主な副作用･毒性】アナフィラキシーを含む重篤な過敏症，infusion reaction，発疹，皮膚反応，悪心，注入部位疼痛，頭痛，不眠など
【安全性に関する情報】
【代謝】イムノグロブリンの代謝経路にて消失すると推定（1）
【排泄】分解される（1）
【t1/2】49 日
【蛋白結合率】該当しない（5）
【Vd】血漿容量に近似すると思われる（5）
【MW】約 149,000
【透析性】透析されない（5）
【O/W 係数】
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】妊婦には有益性投与，授乳中止（1）
【主な臨床報告】軽症～中等症での効果の検証（Gupta A, et al: N Engl J Med 2021 PMID: 34706189）
軽症～中等症例での入院・死亡抑制効果（Gupta A, et al: JAMA 2022 PMID: 35285853）
【備考】インフュージョンリアクションについて，1 時間は厳重に観察，入院以外では 24 時間以内に出現することを考慮して速やかに対応可能な体制を整えておく（電話対応でも可）https://www.mhlw.go.jp/content/000889676.pdf
【更新日】20250409

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。